

当日は、総代総数540人中、527人(実出席186人、書面出席339人、代理出席2人)が出席。野地浩和専務理事より2024年度のまとめと2025年度の計画などを提案。審議では8人の総代が発言し、理事会が説明。活発な審議の結果、全議案が可決しました。

今回、任期満了に伴う役員選挙があり、総代会後に開催された第1回定例理事会にて、理事長に風間与司治、副理事長に橋本好美、専務理事に奥山栄一、常務理事に荒堀共生、金井道夫が選任されました。

総代会の様子



採決に挙手をする総代



採決結果

※第1号～2号議案は出席総代の過半数の賛成で、第3号～4号議案は2/3以上の賛成で可決となります。

※監事の監査報告に続いて、役員選挙について役員選挙管理委員長が報告。登録された役員候補者が選挙区ごとの定数内のため、当組合役員選挙規約に基づき、候補者全員が当選したことが報告されました。

	議案件名	結果
第1号議案	2024年度活動・事業報告承認の件	過半数の賛成により可決
第2号議案	2025年度活動・事業計画承認の件	過半数の賛成により可決
第3号議案	定款の一部改正の件	2/3以上の賛成により可決
第4号議案	組合員除名の件	2/3以上の賛成により可決
第5号議案	役員選挙の件	役員候補者が定数内のため全員が当選

第51回通常総代会が全ての議案の採択をもって無事終了しました。人手不足やコスト高で足元の事業は厳しい状況が続きますが、困難な時こそ、協同組合らしく組合員の皆さんとの対話を起点にして問題解決を図る組織運営を進めていく所存です。昨年から米不足と価格騒動は大きな社会問題として表面化しています。異常気象による野菜や果物の価格高騰も同様です。しかし、これらの背景にある農家の高齢化や担い手不足による生産減少は今に始まったことではありません。危機は着実に迫っていると考えるべきでしょう。組合員のいのちとくらしを守るための「産直」も大きな岐路を迎えています。

2025年度は米の問題とともにこれからの食と農、生産と消費の正しいあり方を皆さんと一緒に考え、行動していく1年にしていきたいと考えます。



理事長
風間 与司治

第51回
総代会を
終えて

第51回通常総代会を開催、全議案を可決

6月12日、第51回通常総代会をハイアットリージェンシー東京(新宿区)で開催し、全議案を可決しました。総代会は、決算や予算、事業計画など重要事項を決める生協最高の意思決定機関です。東都生協26万組合員を代表する総代が、昨年11月から総代会議などを経て当日に臨みました。

MOGMOGレポート

7・8 2025 月号

REPORT 01

早春の三浦半島で大根の収穫体験

3月6日

とーとフレンズ ばなな・くらぶ

温暖な気候に恵まれ、海に囲まれた丘陵地帯。「三浦半島EM研究会」に20人で訪問しました。会長の石渡清文さんの大根畑は、緑一色の壮大なキャンパス。一歩足を踏み入ると、そこはフカフカのじゅうたんのようでした。

参加者は収穫体験と合わせて援農も行いました。気持ちいいぐらい簡単に「スポッ」と抜けるのが楽しいのか、あっという間に収穫車はいっぱいに。

産地の特徴はEM(有用微生物群)と米ぬかなどの有機物を活用し、農業や化学肥料を極力使用しない栽培に取り組んでいること。「食べておいしいのはもちろん、健康になる野菜を作ることが使命」と石渡さんは力強く語ります。

帰途のバスの中では、どんな料理にする? で盛り上がりました。春はもうそこまで来ていると実感の一日でした。



REPORT 02

ヨガで心地よい体を手に入れる

3月18日

とーとフレンズ さんぽんすぎヨガ

20年間活動中の伝統あるサークル。机や椅子を端に寄せ、掃除機をかけ、15人が色とりどりのマットを広げます。座って手指をほぐし、腕、首、肩、脇、腰と日頃縮こまりがちなところを伸ばし、ツボ押しや下半身のマッサージへ。

寝転んで腹筋や背筋を鍛えてから、片足立ちのバランスも。これはパワーが必要そうです。凡のポーズという、見るからに難しそうなものも。

「無理はしないでと先生はおっしゃいますが、途中で止めるのはなかなか難しい」と昨夏から参加した男性(70代)。同じく夏から参加の女性(70代)は「以前ヨガをした時、数年続けると体が変わるのを実感したので再開しました」とのこと。休みなく流れるようにポーズが続く90分間のヨガに、皆さん充実の表情でした。



REPORT 03

「わたしのこだわり」を知ろう!

3月26日

とーとフレンズ バラの会

「東都シーフードミックス」や「東都長崎産さば越後味噌漬け」でおなじみの阪神低温株の橋立康幸さんを講師に迎えて、「わたしのこだわり」商品の調理学習会を行いました。

資料と実演を交えながら、商品の特徴や素材の扱い方、加工や産地の違いまで丁寧に紹介していただき、参加者からも活発な質問が寄せられ、会話のキャッチボールが弾みました。講師の手際よい解凍作業に「なるほど!」の声も。

試食品は、シーフードサラダと講師お手製のシチュー、グリルしたさばの3品。素材の良さが光るメニューに、皆さん満足げな表情でした。

「また購入したい」「新しいメニューを試してみたい」といった感想も寄せられ、講師の橋立さんも「皆さんの熱心さにびっくりしました」と笑顔で応えていました。



Pick up

4種類を試食!



「地域のつどい&かんきつの食べ比べ」

開催日: 3月18日 会場: 調布市文化会館たづくり 主催: 第7地域委員会

「地域のつどいに、ちょっとしたお楽しみがあるとうれしいよね」というアイデアから、「かんきつの食べ比べ」企画が生まれました。当日はまず、名前を伏せた状態で4種類を試食し、味の違いや好みを語り合いました。最後にそれぞれの品種名が発表されると、「なるほど!」「やっぱり!」と声がり、会場は和やかな雰囲気。

後半は、2024年度の活動報告。共働きの家庭にも参加しやすいように土日開催の企画を増やしていることや、新しい組合員活動スタイルを紹介。

その後は、参加者それぞれの「私のイチオシ東都生協商



不知火(しらぬい)、清見オレンジ、河内晩柑(かわちばんかん)、大玉パール柑(天草文旦)の4種類を食べ比べ

品」について語り合う時間に。場が温まっていたこともあり、自然と話が弾みました。

中でも盛り上がったのはわたしのこだわり「東都純米料理酒」(リユースびん商品)のエピソード。料理酒なのに、あまりにおいしくて夫が晩酌に飲んでしまうとのこと。「隠し場所を変えてもすぐ見つけられちゃう!」という「料理酒攻防戦」には大きな笑いが起きました。

参加者からは「今まで知らなかった商品を試してみたい」「いい企画だった」との感想が。母娘で参加された20代の娘さんは「今日はとても楽しかった。若い人にももっとこういう場に来てほしい」と話していました。



一番人気は「大玉パール柑」。昔ながらのさっぱりとした酸味が好評でした。

2024年度第14回定例理事会(2025年5月20日開催)

審議事項

- 2024年度決算関係書類等の確定に関する件
- 第51回通常総代会議案書確認の件(その3)

報告事項

- 2025年4月度決算報告
- 各部署業務報告
- 組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- 2025年度の会計監査人選任に関する件
- 参議院選挙に向けた6生協の共同提言活動実施の件
- 事業資金の長期借入に関する件



今後の理事会日程
(予定)

- ・8月21日(木)
- ・9月18日(木)

<4月の私たち>

2025年4月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	262,458人	[100.5%]
加入	1,105人	[67.3%]
脱退	985人	[99.0%]
総事業高	2,707,550千円	[98.4%]
共同購入事業	2,593,778千円	
弁当配食事業	33,940千円	
生活文化事業	18,129千円	
生活支援事業	4,640千円	
その他事業	57,063千円	
出資金	6,506,484千円	[97.4%]
1人当たりの出資金	24,791円	[97.3%]
1人当たりの利用高	6,459円	[106.8%]